

非行防止キャンペーン Map

子供・若者育成支援強化月間
—内閣府— 連動



マップ① 長沢・野比・北下浦中学校区

早朝から強風と雨に見舞われましたが、集合時間前には空が明るくなり、陽も出てきて一気に暖かくなりました。

風は強かったものの、総勢45名の参加で、予定通り非行防止キャンペーンが行われました。

駅前ロータリーでは北下浦観光協会主催のイベントの受け付けが始まっており、リュックを背負った団体や家族連れで賑わっていました。

参加した中学生は、駅からロータリーへ向かう人たちに「非行防止キャンペーンです!!ご協力お願いします!!」と大きな声で声かけをし、時折強く吹く風に飛ばされないように、チラシ・ティッシュをしっかりと渡しました。

「頑張つてね!!」と声をかけられる場面もあり、日頃学校生活では味わえない貴重な体験ができたのではないかと思います。

参加した中学生の皆さんの元気な声に、とてもあったかい気持ちになりました。(T・H)



マップ② 田浦中学校区

開始15分前に集合場所へ着いてみると、例年よりも人影がまばらな様子です。理由は、急きよ決まった部活の試合で、田浦中学校の生徒たちが参加できなかったからでした。

頼みの綱を失い、なんとなく活気に欠ける感がありました。今日は平均年齢が高いようですが、ベテランパワーで頑張りましょう!との力強い激励(?)をいただき、気を取り直して、キャンペーンをスタートしました。

皆さんフットワークが素晴らしく、時間内に全てのチラシ、ティッシュを配りきりました。まさにベテランパワー健在です。

この日は突然の寒波の襲来に気温は低く、そのうえ冷たい雨の降る天候でしたが、保護司、田浦警察署員、青少年育成推進員など、総勢23名で元気に声掛けを行いました。

とはいえ、参加した皆さんの軽快なフットワークは、あまりの寒さにじっとして居られなかったからかもしれません。(Y・S)

市長表敬訪問

10月6日(金)

織田協議会会長他3名で、上地克明市長を表敬訪問しました。



訪問では、協議会の活動と中学校区の活動の説明、『よこすか育成通信』の題字揮毫へのお礼、10月22日のわんぱくフェスティバル、12月9日の中学校対抗ウォークラリー大会などへの支援と協力をお願いしました。(T・O)

横須賀を知ろう

『猿島巡り』

11月4日(日)

三笠橋から10分のクルージングで、東京湾に浮かぶ小さな無人島へ。1週未になると観光客で賑わうこの島には、幕末から第二次世界大戦にかけ

て、東京湾を防備する「要塞島」だった「もうひとつの顔」があります。―(よこすかシティガイド談)

戦争中は、台場や砲台が設置され、多くの兵士が暮らしたそうです。その間、民間人の立入りが禁止されたため、手つかずの自然の中に、これらの構造物が一部残っています。散策路を上ると、樹木と石積みの岩壁に囲まれ、あつという間に海が見えなくなりま

した。―外から島の内側の構造が見えないように作られているんです。―(同談)



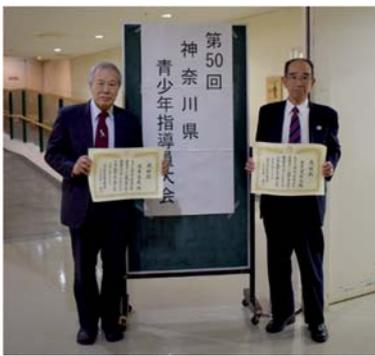
まるで「ジブリの世界」という箇所があちこちに見られました。また「仮面ライダー」の撮影が行われたことも知りました。猿島ならではの自然遺

産、伝説を見聞きし、一般観光ルートとは別の特別な場所も見学でき、この野外研修は、今後の活動の糧となりました。(T・O)

神奈川県指導員大会

11月12日(日)

「思いやり、その大切さをしつなごう、心のあたたかさ」をテーマに、第50回神奈川県青少年指導員大会が開催されました。



横須賀市からの2名、遠藤俊義さん(浦賀中学校区)と里見規矩夫さん(公郷中学校区)を含む、県内7地域60名の青少年指導員に感謝状が贈呈されました。活動事例発表に続いて小宮信夫 立正大教授が「青少年に望ましい地域をどう築くか―防犯まちづくりと絆づくり―」を演題に講演されました。防犯まちづくりでは、先

生のテレビ出演映像を交えたご講演により、人通りの多い道や公園など、日常安全が当たり前のように思っている場所に、危険性を秘めた場面が多くあることを教えられました。このような危険性を考えながら、地域の子どもの育成活動をしていきたいと思えます。(K・S)

活動体験発表会

2月10日(土)

青少年会館ホールにおいて、118名の参加で開催されました。追浜・不入斗・神明・北下浦・浦賀の5中学校区と環境研究部会が、日ごろの活動成果を発表しました。



啓発パネル展示

11月6日(月)～
11月10日(金)

子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、横須賀市役所本庁舎北口展示コーナーに展示しました。

ゆうやけこやけ

鍋のおいしい季節になった。肉か魚介か、はたまたキノコや豆腐を主役にするか悩みは多い。さらに塩か醤油かどんこつか、出汁はまるでラーメンを選ぶのがとくである。

一方でわき役も白菜やネギなど定番から、レタスやブロッコリーなど変わりダネもある。具材を考えるだけでも、心もカラダも温まってくる。

わが家では、実にシンプルな鍋を作ることが多い。鶏モモにはネギ、豚バラ肉には白菜のみの組み合わせである。「ちよつと寂しいじゃないの」と言う声が聞こえてくる。

しかし、付けダレをとりそろえることで、味のバラエティーが数段あがる。ポン酢や胡麻ダレはスタンダード、味噌やクリームチーズなどの変わりダレもある。鍋は食のオーケストラなのである。(H・Y)

編集後記

皆様方のご協力により、24号を発行することができました。ことに、広報研究部会一同感謝申し上げます。